

特 106

3971

海 事  
法 規 ノ 要 項



大 阪  
山 海 士 學 館



始



中山智行編纂

海  
事  
法  
規  
の  
要  
項

大阪 中山海士學館

2.218

特106  
3971

海 事 法 規 ノ 要 項

○海上法一名海法トハ  
海事ニ關スル一般ノ規則ヲ云フ

○我國ニ於テ船舶及ヒ海員ニ直接關係アル法律規則ハ  
船員法、船舶職員法、海員懲戒法、海上衝突豫防法、船舶法、船舶検査法、税  
關法、開港々則、海港檢疫法、危害品船積法、火藥類運送規則、水難救護法  
其他商法、海商編等ノ規定トス

○船員法トハ

帝國船舶ニ乗組ム船員ノ取締規則ニシテ其内容ハ船員ノ身分及ヒ  
乗船經歷ヲ證明スル船員手帖ニ關スル事柄、船長ノ職權及ヒ職責、雇  
入雇止ニ關スル事柄、海員ノ服務規律及ヒ其懲戒、竝ニ船員法違犯者

ノ罰則ヲ定メラレタルモノナリ

此規則ハ湖川港灣内ヲ航行スル船又ハ總噸數二十噸未滿積石數二百石未滿ノ船並ニ重ニ櫓權ヲ以テ運轉スル船舶ニ乗組ム海員ハ守ルニ及ハサルヘシ

○船員法施行細則トハ

船員法ノ附屬法ニシテ其手續ヲ定メタル規則ナリ

○船舶職員法トハ

帝國船舶ニ乗組ムヘキ職員ノ資格ト定員ヲ制限シタル規則ナリ

○海員懲戒法トハ

海技免狀ヲ受有スル者カ其職務ヲ執ルニ當リ違犯ノ行爲アリタルトキ監督官廳ガ夫レヲ取糺シ懲戒スルコトヲ定メタル規則ナリ

○違犯行爲トハ

- 一 經卒ニ船ヲ乘棄テタル所行
- 二 過失懈怠又ハ不當ノ所爲ニテ船舶ニ損害ヲ加ヘ又ハ沈沒セシメタル所行
- 三 過失懈怠又ハ不當ノ所爲ニテ負傷者ヲ出シ又ハ死人ヲ出シタル所行
- 四 遭難ノトキ救助ニ盡力セサリシ所行
- 五 難船ヲ見ナカラ其船客乗組員ヲ救フコトヲ爲ササリシ又救助ノ出來得ル船舶ヲ助ケサリシ所行
- 六 船員法其他ノ規則ニテ守ルヘキコトヲ守ラサリシ所行
- 七 酒ニ酔ヒ組暴ノ行ヲナシ其他凡テ刑事上ノ犯罪ニ罹ル所行アリシ等ナリ

○海員懲戒法ニヨル海員ノ懲戒ハ

免狀禁止、免狀停止、及ビ譴責ノ三種ナリ

○免狀禁止トハ

免狀ヲ取上ケラレ終身船舶ノ職員トナルコトヲ得ザル處分ヲ云フ

○免狀停止トハ

輕重ニヨリ一ヶ月以上三ケ年以内ノ間免狀ノ行使ヲ停メラル、處分ヲ云フ

○譴責トハ

失錯ト認定セラレテ叱ラル、處分ヲ云フ

○海員懲戒法ニ問ハレザルモ免狀ヲ使用シ能ハザル場合ハ

- 一 公權ヲ剝奪セラレ復權セザルトキ公權停止中ノ間
- 二 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復權セザル間ト身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル間

三 瘋癲、白痴、又ハ不具ニシテ職務ヲ執ルニ不適當ナル者トナリタ

ルトキ

○海上衝突豫防法トハ

海上ニ於テ船舶ノ衝突ヲ防グ爲メニ制定セラレタル萬國申合せノ共通規則ナリ

○船舶法トハ

日本船舶ノ取締規則ニシテ日本船舶タル資格ト其特權及取扱ニ關スル手續ヲ示シタル規則ナリ

○船舶法施行細則トハ

船舶法ノ附屬法ニシテ手續ノ詳細ヲ補フタル規則ナリ其内容ハ積量測度、登録、國籍證書得喪ニ關スルヲ、其外國旗及諸手數料、罰則等ヲ網羅セリ

## ○日本船舶ノ特權トハ

國旗ヲ揚ケ、日本法律ノ保護ヲ受ケ、日本領内ノ各地へ自由ニ航海シテ荷客ヲ勝手ニ運搬スルコトヲ得ル能力ナリ

## ○船舶検査法トハ

老朽薄弱ナル船舶ノ濫用ヲ取締ル爲メ設ケラレタル規則ナリ

## ○検査法施行細則トハ

検査ノ手續ヲ細カニ示シタル附屬法ナリ

## ○検査規程トハ

検査ノ程度ヲ定メタル規則ナリ

## ○税關法トハ

國家財政ノ必要ト國產保護ノ目的ヨリ輸出入貨物ニ税金ヲ課スルコトヲ定メタル規則ニシテ内外國船共一般ニ守ルベキ規則ナリ

## ○開港々則トハ

内外國船舶ノ輻輳スル港内ノ秩序ヲ取締ル爲メ設ケラレタル規則ニシテ現ニ此規則ヲ實施セラレ居ル箇所ハ横濱、神戸、門司、長崎ノ四港トス

## ○海港檢疫法トハ

虎列刺、痘瘡、ペスト、黄熱、猩紅熱等ノ傳染病ノ侵入ヲ防ク爲メニ設ケラレタル衛生上ノ取締法ニシテ現ニ該規則ヲ實行セラレアル箇所ハ横濱、神戸、門司、下關、長崎、若松、口ノ津等ナリ

## ○危害品船積法トハ

火藥ノ如キ危險物其他積合セノ荷物ヲ損スル虞レアル者ヲ猥リニ船積シテ危害ヲ起スヲ取締ル爲メニ設ケラレタル規則ニシテ火藥ヲ船積スルニ就テハ特ニ設ケラレタル火藥類船舶運送規則アリ

○商法海商篇ハ

船主、船長、荷主及其他關係人ノ權利ト義務トヲ定メタル規則ニシテ其内容ハ全篇ヲ七章ニ分チ第一章ハ船主、及船舶管理人ノ權利義務ニ關スル事柄、第二章ハ船長及ビ海員ノ權利義務、第三章ハ運送契約ニ關スル事柄、第四章ハ海損ニ係ル事柄、第五章ハ海難救助ニ關スルコト、第六章ハ海上保險ニ關スルコト、第七章ハ船舶債權ニ係ルコトヲ規定シタルモノナリ

○船長ノ性格ハ

海商行爲ヲナス船主ノ部理代人ニシテ政府ヨリハ行政ノ取締上官公吏ニ均シキ部分權ヲ附與セラレ居ルモ事實ハ雇傭契約ニヨリ勞務ニ服スル船舶所有者ノ使用人ニ過ギス

○公法上ニ於ケル船長ノ職權ハ

船員法ニヨル命令權、及處分權、刑事訴訟法ニヨル警察權並ニ戶籍法ニヨル業務執行ノ部分權等ナリ

○船員法ニヨル命令權トハ

船中ニ在ル者ニ對シテハ其職務ヲ行フニ必要ナル命令ヲナスコトヲ得、兇器危險物ヲ押收シ又ハ必要ノ時間身體ヲ拘束スルヲ得  
(船員法第十三條同第四十一條乃至第四十三條等ナリ)

○刑事訴訟法ニヨル警察權トハ

同法第四十八條ニヨレバ船内ノ犯罪ニ付テハ船長ハ司法警察ノ職務ヲ行フ可キモノタリ故ニ船内ニ犯罪アル場合ニハ定繫港又ハ犯罪後最初到達シタル港ノ裁判所ニ對シテ相當ノ手續ヲ了セザルベカラズ(同法第三十條)

○私法上ニ於ケル船長ノ職權ハ

船籍港ト船籍港外トニヨリ大キニ差違アリ船籍港ニ在リテハ其範圍狹少ニシテ專斷ニ處分スルハ僅カニ海員ノ雇傭契約ノ手續ヲナスノミナレトモ船籍港外ニ在テハ法文上凡テ船主代人トシテ裁判ニ係ル事件モ又裁判ニ關セサル事柄ヲモ專行シ或ル場合ニハ廣大ナル專斷權ヲ認メ居ラル、モ通信ノ便アル今日ニ在テハ事實上昔日ト大キニ異ナリ居ル觀アリ

### ○廣大專斷權トハ

船舶ヲ抵當トシテ借財ヲナシ又ハ競賣ニ付シ或ハ積荷ヲ賣却シ又ハ質入トナシ航海ノ爲メニ積荷ノ一部又ハ全部ヲ使用スルヲ得ヘシ是等ハ皆萬止ムヲ得サル場合ニ最深忠實ナル判斷ヲ以テ決行シ得ヘキヲナルヘシ

然ルニ法律ハ契約ノ自由ヲ認ムルト云フ原則ニ依リ船主カ代理權

ニ制限ヲ加ヘテ甚シク縮少シ置キタルトキハ其事實ヲ認知シ居タル相手方ニ對シテハ効力アルヘキモ何事モ知ラサル善意ノ人ニ對シテハ何等ノ効力ハ有セザルヘシ

### ○船長ノ義務ハ

公法上ノ義務ト私法上ノ義務トアリ公法上ノ義務トハ船員法及ヒ船舶法ノ如キ命令法ノ規定セル義務ニシテ私法上ノ義務トハ商法海商編ノ規定セル義務ナリ而シテ公法上ノ義務ハ其違犯ニ對シテハ夫々ノ懲罰アリ、私法上ノ義務ニ背キタルトキハ損害賠償ノ責アルナリ

### ○公法上ノ義務ヲ舉クレハ

- 一 船員法ノ命スル所ニヨリ重要書類ヲ備ヘ整理シ置キ提供スベキ  
(船員法第十四條)ノ義務



- 二 船長自ラ船舶ヲ指揮スヘキ(同第十五條)ノ義務
- 三 航海日誌ノ檢閲ヲ受クヘキ(同第十六條)ノ義務
- 四 船長ハ口頭或ハ書面ヲ以テ都度々々顛末ヲ報告スヘキ(同第十七條)ノ義務

- 五 急迫ノ危険ニ際シ船長ノ行動(同第十九條)ノ義務
- 六 衝突ノトキ船長ノ取ルヘキ手段(同第二十條)ノ義務
- 七 遭難船ヲ認メタルトキ船長ノ取ルヘキ手段(同第二十一條)ノ義務
- 八 船中ニテ海員死亡ニ對スル所置(同第二十二條)ノ義務
- 九 外國ニ於テ邦人ノ送還ヲ命ゼラレタルトキ(同二十三條)ノ義務等ナリ

○私法ノ規定セル義務ヲ舉クレハ

- 一 出帆ニ際シ航海準備ノ整頓ヲ檢査スル(商法五百六十一條)ノ義務

二 遲滞ナク發港シ豫定航路ヲ直進スル(同五百六十四條)ノ義務

三 航海ニ關スル重要ナル事項及ヒ計算ハ遲滞ナク船主ニ報告スル(同第五百七十三條)ノ義務

四 旅客乗船貨物船積シアル間ハ自己若シクハ代理者ヲ在船セシムル(同第五百六十三條)ノ義務

○船長ハ船主ト利害ヲ異ニスル貨主等ニ對スル義務ハ公平無私ナル判斷ヲ以テ最良ノ方法ヲ撰ムヘキモノナリ(商法第五百六十五條)

○公法上ノ責任ニ付テハ命令法違犯行爲ニ對シテハ夫々本法規定ノ罰則條項ニ問ハレ免狀ニ對シテハ海員懲戒法ノ處分ヲ受ケ、職務上必要ナル注意ノ怠リニ因テ人ヲ死傷セシメタルトキハ刑法第二百一十一條ノ制裁ヲ受ケ三

年以下ノ禁錮若クハ千圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

○私法上ノ責任ハ

自己ノ行爲ニ因ルト海員ノ行爲ニ因ルトニ論ナク共ニ其責ヲ免ルヘカラズ

自己ノ直接行爲ニ因リ船舶ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニアラザレバ船主、傭主其他ノ關係人ニ對シ民法第七百九條ニヨル賠償ノ責ヲ免ル、コトヲ得ザルヘシ(商法第五百五十八條)

○海員即使用人ノ行爲ニ關スル責任ハ

監督ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非サレバ其責ヲ免ル、コトヲ得サルヘシ

○船長トシテ乗船シタルトキハ

重要書類ノ引繼ヲナシ係官廳ニ對シテ検査證書ノ書換若クハ裏書ヲ申請スヘシ(但シ沿海航路以下ノ船ハ検査證書ノ書換ヲ爲スニ及ハス)而シテ就職ノ認證ヲ受クルト受ケサルトハ各自ノ隨意タルヘシ

○重要書類トハ

商法規定ノ船舶國籍證書、海員名簿、屬具目錄、航海日誌、旅客名簿、運送契約積荷ニ關スル書類、税關ヨリ交付セラレタル書類等ニシテ其他船舶検査法ニヨル検査證書、検査手帖、船燈救命具ノ成績書等ナリ

船舶國籍證書トハ

○日本船舶ナルコトヲ證明シタル書類ニシテ不登簿船ノ船鑑札ト同様ノモノナリ

○國籍證書ヲ授受スルニハ

造船所若クハ前所有者又ハ外國船ナレバ其國領事館證明書ヲ以テ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ積量測度ヲ申請シテ件名書ノ下付ヲ請ヒ其件名書ニヨリ船籍港ヲ管轄スル裁判所ニ登記ヲ申請シ登記濟ノ上登記謄本ヲ得テ管海官廳ニ向テ登録ヲ申請スレバ下付セラレヘシ

○海員名簿トハ一定ノ書式ニ從テ作製セラレタル海員ノ雇入契約書ニシテ管海官廳ノ公認ヲ受ケタル公文書ナリ

○海員ヲ雇入ル、ニ當テハ

先ツ乗組志望者船員手帖ノ有無ヲ調査スヘシ初メテ海員トナルモノニアラザレハ必ス所持シ居ルヘキ筈ナルニヨリ若シ從來ノ海員ニシテ手帖ヲ所持セサルモノハ其理由ヲ糺シ正當ナル事實ヲ有セサルトキハ注意スヘキモノトス

○初メテ海員トナル者ニシテ手帖ヲ所持セザルトキハ

先ツ手帖ノ交附ヲ其筋ニ申請セシメ其手帖ヲ受領シタル上雇入手續ヲナスナリ

○若シ詐偽ノ事實ヲ申立テ手帖ノ交附ヲ受ケ又ハ雇入ノ公認ヲ受ケタルトキハ

十五日以上六ヶ月以下ノ懲役ニ處セラレヘシ

○海員タルモノ、年齢ハ

何歳ニテモ手帖ヲ所持シテ契約ヲナス以上ハ法律上ノ有効ニ契約ヲナスコトヲ得ヘシ然レトモ滿十五歳以上ノ履歷ニアラザレハ有効ナル海上執務ト看做サザルヘシ

○船員ト海員トノ區別ハ

船員トハ乗組員全部ヲ總稱シ海員トハ船長ヲ除キタル外一切ノ乗

組員ヲ稱シタルモノナリ併シ之ハ商法ダケノ區別ニシテ一般ノ區別ニハアラザルヘシ

○雇入公認手續ハ

海員名簿ノ表紙ニハ船ノ種類、船名、國籍證書ノ番號、船籍港、積量、航路、定限、船主、船長ノ住所氏名ヲ記入シ、飲食物給與ニ關スルコト、特別契約ノ條項、雇入ノ年月日、雇入ノ場所等ヲ各員職務等級ノ順番ニ應シテ手帖ノ番號、住所、職務、給料等ヲ夫々各欄内ニ記入シ又別ニ公認申請書ト所定ノ收入印紙ヲ貼付シタル手數料納付書ヲ添ヘテ公認所ヘ提出シ先ツ其名簿ニ雇者記名調印ヲナシ然ル後各被雇者記名調印シテ公認ヲ受クヘシ

○海員雇入契約ハ

一ケ年以上ニ涉リ約束スルコトヲ得ス

○海員カ公認契約ニヨリ生スル義務ハ

船員法ノ規律ニ服從シ其契約期間内ハ双方合意ノ場合若クハ一定ノ條件アルニアラサレバ中途勝手ニ解約ヲナシ能ハサルモノナリ

○船員法ノ規律トハ

左ノ十一項トス

- 一 上長ヲ尊敬シ從順ノ道ヲ失ハサル様ニナスヘシ
- 二 職務ヲ勉勵スヘシ
- 三 他ノ職務ヲ妨クルコトアルヘカラス
- 四 喧爭スヘカラス
- 五 許可ナキニ船ヲ去リ又ハ指定ノ時刻ニ歸船セサルコトアルヘカラス
- 六 許可ナキニ點火及ヒ焚火ヲナスヘカラス
- 七 許可ナキニ端艇ヲ使用スヘカラス

八 食料又ハ飲料ヲ濫リニ消費スヘカラス

九 許可ナキニ酒ヲ所持シ又ハ吸煙スヘカラス

十 銘酩スヘカラス

十一 船中ノ秩序ヲ亂ス行ヒヲナスヘカラス

○ 海員カ船員法ノ紀律ニ違犯シタルトキハ

雇者即チ船長ハ規定ニ依ル懲戒處分ヲ加ヘルコトヲ得ヘシ

○ 其處分ハ

監禁、上陸禁止、加役、減給ノ四種トス

○ 處分ノ實行ハ

船長ノ見込ニテ適宜ニナスヘキモノナレトモ夫々制限アリ又二種ヲ併科スルコト能ハサルヘシ

○ 監禁ノ制限ハ

三日以内ヲ限リ船中ノ一室ニ閉チ込メ置ク處分ナリ

○ 上陸禁止ハ

碇泊中七日間以内ヲ限リ上陸ヲ差止ムル處分ナリ

○ 加役ハ

毎日二時間ヲ越ヘサル程度ヲ以テ七日以内ノ範圍ニテ餘分ニ勞働セシムル處分ナリ

○ 減給ハ

一ヶ月内月給一割以上ニ及ハヌ範圍内ヲ以テ給料ヲ減給スル處分ナリ

○ 船長若シ無法ナル處置ヲナシタルトキハ

被雇者ハ商法海商篇ノ規定ニ依リ期間中ト雖トモ解約ヲ請求スルコトヲ得ヘク又船長カ無法ニ海員ヲ虐待シタルトキハ船員法ノ罰

則ニ依リ法律ノ制裁ヲ受クヘシ

○海員ノ權利ハ

- 一 海員ノ食料ハ給料ノ外ニ請求シ得ヘシ
  - 二 服役中不行跡其他重大ナル過失ニ因ラサル疾病傷痍ハ三ヶ月以内ノ範圍ニ於テ治療及看護ノ費用ノ支給ヲ請求シ得ヘシ
  - 三 過失ニアラスシテ疾病又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘスシテ解雇及ヒ不可抗力ノ爲メ發航シ能ハスシテ解雇ノ場合ハ雇止ノ日マテ給料ト雇入港マテノ送還ヲ請求シ得ヘシ
- 船主ノ都合ニヨリ解雇ノトキハ服役期間ノ外一ヶ月分ヨリ多カラサル月額ノ給料ヲ増シテ請求シ得ヘシ
- 被雇者ヨリ當然解雇ヲ請求シタルトキ及ヒ雇傭契約終了ノ場合ハ雇止マテノ給料ト返還費ヲ請求シ得ヘシ

四 船主變更セルモ其請求權ハ依然存續セラレヘシ

五 海員職務ヲ行フニ因リテ死亡シタルトキハ葬式費用ハ船主ノ負擔トナシ得ヘシ

六 他船ノ救助ニ従事シ本船ニ於テ其救助料ヲ收得シタル場合ハ其分配ヲ請求シ得ヘシ

○海員ノ雇傭契約ハ

合意若クハ條件ヲ具備スルニアラサレハ一方ノ意思ヲ以テ中途解約スルコトヲ得サルヘシ

○中途解約ノ條件トハ

被雇者ヨリ解約ヲ申込ムヘキ場合ト雇者ヨリ解約ヲ申出ツヘキ場合トアルヘシ

○被雇者ヨリ解約ヲ申込ムヘキ場合ハ

乗込ノ船舶カ日本ノ國籍ヲ失ヒ即チ其船ガ外國人ノ手ニ賣レタルカ又疾病或ハ負傷ノ爲メ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルカ否ラサレハ船長ヨリ虐待ヲ受ケタルコトアルトキニ限ルモノナルヘシ

○雇者ヨリ中途解約スヘキ場合ハ

出帆前職務不適任ナルコトヲ認ムルカ、著シク其職務ヲ怠リ又ハ重大ナル過失アルカ、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルカ、疾病又ハ怪我ノ爲メ職務ニ堪ヘサルニ至リタルカ、不可抗力ニシテ發航シ能ハサルコト、ナリタルトキ等ナリ

○被雇者ヨリ解約ノ場合ト雇者ヨリ解約ノ場合トノ差ハ

前者ハ給料及ヒ送還ノ費用ヲ全然請求シ得ヘキモ後者ハ疾病、傷痕、不可抗力ノ場合ニアラサレハ服役シタル日迄ノ給料ノミヲ請求シ

得ルニ過キス

○雇傭期間ノ中途ニ終了トナルハ

一 船カ沈没シタルトキ 二 船カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ 三 船カ捕獲セラレタルトキナリ

○此場合ニハ海員ノ給料ハ

終了ノ日マテノ給料ト雇入港マテノ送還ヲ請求シ得ルナリ

○船カ修繕シ能ハサルト云フ損害ノ程度ハ

修繕費カ現船價ノ三分ノ二以上トナルトキハ修繕シ能ハサルモノト見做スコトヲ得ルナリ

○航海中雇入契約期間滿了シタルトキハ

其時契約更新ヲナシタルモノトシテ初メテ到着シタル公認所々在

地ニ於テ追認ヲ受クヘシ

○更新ト變更トノ區別ハ

更新トハ雇入期間滿了トナリタルヲ其儘引續キ契約スルヲ云ヒ變更トハ職務等級又ハ給料等ヲ變更シテ契約スルヲ云フ

○管海官廳ナキ地ニ於テ海員ヲ雇入レタルトキハ

先ツ被雇者ヲ乗船セシメ置キ管海官廳アル港ニ始メテ到着シタルトキ追認ヲ受クヘシ

○被雇者雇入契約後ニ於テ乗船ヲ拒ミタルトキハ

船員法第四十四條ニ依リ乗組ヲ強制スルコトヲ得ヘシ

○雇入ノ手續終リ指定ノ時刻ニ至ルモ勝手ニ乗込マサルトキハ

船員法ニ依リ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

○海員無許可ニテ上陸シ歸船セサルトキハ

○更新ト變更トノ區別ハ

更新トハ雇入期間滿了トナリタルヲ其儘引續キ契約スルヲ云ヒ變更トハ職務等級又ハ給料等ヲ變更シテ契約スルヲ云フ

○管海官廳ナキ地ニ於テ海員ヲ雇入レタルトキハ

先ツ被雇者ヲ乗船セシメ置キ管海官廳アル港ニ始メテ到着シタルトキ追認ヲ受クヘシ

○被雇者雇入契約後ニ於テ乗船ヲ拒ミタルトキハ

船員法第四十四條ニ依リ乗組ヲ強制スルコトヲ得ヘシ

○雇入ノ手續終リ指定ノ時刻ニ至ルモ勝手ニ乗込マサルトキハ

船員法ニ依リ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

○海員無許可ニテ上陸シ歸船セサルトキハ

無斷上陸シ一晝夜以上歸船セス又ハ乗後レノ場合ニハ前同様船員法ニ依リ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

○海員脱船シタルトキハ

船長ハ警察署ニ其手續ヲナシ保管シアル其者ノ手帖ハ管海官廳ニ返納スヘシ

○其脱船者ハ

十一日以上六ヶ月以下ノ懲役ニ處セラレ若シ相黨與シタル場合ニハ一ヶ月以上一年以下ノ懲役處分ヲ受クヘシ

○雇入中ノ船員手帖ハ

船長之ヲ保管スヘキモノナリ

○雇止ヲナスニハ

海員名簿及各海員ノ手帖ニ雇止ノ事項ヲ記入シ管海官廳ノ公認ヲ



受ケ手帖ハ各自ニ返還スヘシ

○船長下船ノトキハ

乗船ノトキ就職認證ヲ受ケ居ラサレハ別ニ退職ノ認證ハ受クルニ及ハサレトモ若シ就職ノ認證ヲ受ケ居ルトキハ必ス退職ノ認證ヲ受クヘキモノナリ

○屬具目錄トハ

本船ノ主ナル附屬具ヲ記載シ置ク帳簿ニシテ船長ハ恒ニ之レヲ整理シ置クヘキ書類ナリ若シ此屬具目錄ニ記載ナキモノハ共同海損ニ組入ル、コトヲ得サルヘシ

○普通記入スヘキ主モナル屬具トハ

甲板部ニ在テハ圓材、裝帆、索具、錨、揚錨機、起錨機、操舵機具、端艇ノ如キ凡テ検査規程第十一號表ニ記載シアル屬具等ヲ指スナリ

○若此書類ヲ備ヘ置カサルカ又ハ記入ヲ怠リ居リタルトキハ

船員法義務違犯トシテ參拾圓以上參百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

○航海日誌トハ

此日誌ハ官用日誌ト稱シ船長ハ法律ノ規程ニ從ヒ指定ノ事柄ヲ記載シ置クヘキ書類ナリ

○其編製方ハ

全部八項ヨリ成リ立チ第一項ハ表紙ニシテ海員名簿ト同様ニ船ノ種類、船名、國籍證書ノ番號、船籍港、積量、航路定限、船主、船長ノ住所氏名ヲ記入シ第二項ハ官廳記事ニシテ係官ノ事故ヲ記入スヘキ欄、第三項ハ記入スヘキ事故十二種ノ見出ニシテ此所ニハ事實ノ記載ヲナシタル頁數ヲ記入スヘキ欄アリ第四項ハ船員懲戒ニ係ル記事ノ頁

數ノ見出、第五項ハ船ノ發着ノ月日時刻第六項ニハ各事件ノ顛末、第七項ニハ出生者ニ係ル事柄、第八項ニハ死亡者ニ係ル事柄ヲ記入スル様編製シタルモノナリ

○指定ノ事項トハ

左ノ十二ノ場合ナリ

- 一 豫定航路ヲ變更シタルトキ
- 二 人命又ハ船舶ヲ救ヒタルトキ
- 三 衝突其他ノ海難ニ罹リタルトキ
- 四 豫定セサル港ニ寄港シタルトキ
- 五 船舶ニ急迫ノ危険アリテ之ヲ乘棄テタルトキ
- 六 海員ヲ懲戒シタルトキ
- 七 船員法第四十一條同第四十四條ニ依リ處分ヲナシタルトキ

- 八 船員法第四十五條ニ依リ救助ヲ求メタルトキ
- 九 船中ニ於テ犯罪者アリタルトキ
- 十 船中ニ出生者アリタルトキ
- 十一 船中ニ死亡者アリタルトキ
- 十二 其他船中ニ異常ノ事變アリタルトキ等ナリ

○此日誌ハ

内國ノミヲ航海スル船ナレバ只記載シテ保存シ置クノミナレドモ外國ニ通フモノ及ヒ外國ノ各港間ヲ航海スル船ナレハ外國ニ於テハ領事館ニ、日本國ニ到着シタルトキハ其港ノ管海官廳へ着港後二十四時間内ニ此ノ日誌ヲ提出シテ檢閲ヲ受クベキモノナリ併シ十二時以内ニ出帆スルモノハ其手續ヲナスニ及バズ

○是等ノ書類ニ不正ノ記載ヲナシタルトキハ

其事實ノ輕重ニヨリ船長ハ懲役又ハ罰金ニ處セラレヘシ

○其都度事實ノ顛末ヲ管海官廳ニ書面若クハ口頭ニテ報告シ置クヘキコトハ

- 一 豫定航路ヲ變更シタル事實
- 二 人命及船舶ヲ救助シタル事實
- 三 衝突其他海難ニ罹リタル事實
- 四 船カ捕獲セラレタル事實
- 五 船中ニ死亡者アリタル事實

○海難ニ罹リタルトキ官用日誌ノ記入方ハ

十二項ノ見出中衝突其他ノ海難ニ罹リタル見出ノ記入アル三號欄ノ所ニ其顛末ヲ詳記シタル頁數ヲ記入シ六項ノ顛末ヲ記入スヘキ場所ノ番號欄ニ三號ト記シ事實發生ノ年月日事實發生ノ場所並ニ

記入ヲナシタル年月日ヲ記入スベキ各欄ニ夫々記入ヲナシ其下欄ニ詳細顛末ヲ書入ルベシ

○船中ニテ死亡者アリタルトキハ

船長ハ航海日誌ニヨリ謄本ヲ作製シテ戶籍吏又ハ領事官ニ送付シ海員ナルトキハ船中重立チタル者二名以上ヲ立會ハシテ遺産目錄ヲ製作シ船長之ニ署名捺印シ立會人連署シテ管海官廳ニ差出シ遺産ハ管海官廳ノ指揮ヲ待テ處分スベシ

○旅客ノ死亡シタルトキハ

海商編第六百三十八條ニ從ヒ其相續人ノ利益ニ適スル方法ニ依リ船中ニ在ル手荷物ヲ處分スベシ

○船長其手續ヲ怠リタルトキハ

船長ハ義務違犯トシテ船員法ニヨリ又戶籍法ノ違犯トシテ戶籍法

ニ依リ何レモ裁判所ヨリ處罰セラレ免狀ニ對シテハ海員懲戒法ニ依リ審判所ニ於テ其事實ヲ審判セラレテ懲戒處分ヲ受クベシ

○船員法ノ規定ニヨリ報告ヲナスニハ

口頭若クハ書面ヲ以テナスナリ其書式ハ左ノ如シ

報告書

一 番號

二 種類名稱

三 船籍港

四 積量 總噸數……噸  
登簿噸數……噸

五 所有者住所氏名

六 船長免狀種類番號

七 船長本籍住所族稱

八 發航港到達港

九 報告スヘキ事實發生ノ年月日時

十 報告スヘキ事實發生ノ場所

十一 事實ノ顛末

右及報告候也

年 月 日

船長 何 某

遞信管理局海事部御中

○船客カ亂暴ヲ働キ他ニ加害ノ虞アルトキハ

船長ハ其者ヲ必要ノ時間拘束スルコトヲ得ヘシ然レトモ之ニ制裁ヲ加フル如キ所爲アルヘカラス

○船長猥リニ乗客ヲ處分シタルトキハ

其職權濫用ノ廉ヲ以テ船長ハ法律ノ制裁ヲ受クベシ

○旅客名簿トハ

旅客ノ乗船下船ノ時刻其住所氏名ヲ記入シ置ク書類ニシテ此書類ハ中國各港經由船ノ如キ沿海航船ハ管海官廳ノ認可ヲ受クレバ省略スルコトヲ得ベシ

○運送契約トハ

報酬ヲ得テ物品ヲ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ移轉スルコトヲ約束スルヲ云フ

○船ノ賃貸借ト備船契約トノ差別ハ

賃貸借ナレバ其船舶所有權ヲ一時移轉セシムルト同様ニシテ借受人ハ權利義務ヲ取得スルモノナル故登記ノ手續ヲ經テ契約ヲ確定ス備船契約ハ其船体ノ全部又ハ一部ノ使用權ヲ設定スルモノニシ

テ期限契約ト航海契約ノ別アリ又個々ノ荷物ヲ船腹ニ積載輸送スルモノモアルナリ

○運送契約積荷ニ關スル書類トハ

船貨證書、備船契約書ノ如キモノヲ云フ

○船貨證書トハ

一種ノ積荷引換證ニシテ法律上銀行振出手形ト同様ノ効力ヲ有シ夫ニテ積荷賣買取引ヲナスコトヲ得ル有價證券ナリ

○運送契約ニ依リ備船者及ヒ荷送人ニ默認セラレ居ル船長ノ責任ハ發航ノ當時船舶カ健全ニ航海ヲ果スニ堪ルコトヲ確實ニ保證シ居ルモノト見做サル、モノナリ

○法令ニ違犯シ又ハ契約ニ依ラサル運送品ハ

船長ハ何時ニテモ陸揚ケナシ若シ危害ノ虞アルトキハ場合ニヨリ

海中ニ放棄スルヲ妨ケサルヘシ但シ此場合ニハ最高ノ運賃ヲ請求シ得ヘシ

○運送契約ニ際シ特ニ注意シ置クヘキハ

船積期間、滯船料、空船運賃、解諸掛物、請渡ノ場所、期日、其外修繕、遭難、中途解約等ノ約定トス

○二人以上ノ船荷證券所持人カ運送品引渡ニ付争アルトキハ運送品ヲ供託スヘシ

○數通ノ船貨證券ヲ發シ其所持人一人先キニ來リテ引渡ヲ請求スルトキハ

到達港ナレハ運送品ヲ其者ニ引渡スヘキモ中間港ナレハ交付シタル證券悉ク落手セサル以上ハ運送品ノ引渡シヲナサルヘシ

○旅客カ發港前契約ノ解除ヲ申出テタルトキハ

既ニ支拂ヒタル運賃ノ半額ハ當然請求シ得ヘシ併シ死亡又ハ不可抗力ニ起因スルトキハ四分ノ一ヲ請求スヘシ

○船長積荷ヲ使用シ得ヘキ場合ハ

其船荷ヲ使用セサレハ航海ヲ繼續シ能ハサルトキニ限ルヘシ但シ此場合ニハ其運送賃ハ全部領收シ得ヘシ

○單獨海損ト共同海損ノ區別ハ

船及ヒ荷物ヲ救フ爲メ船長カ任意ニ起シタル損害即チ荷打ノ如キハ共同海損ニシテ天災等ニ罹ルハ單獨海損ナルヘシ

○共同海損ノ分擔割合ハ

船舶及ヒ積荷ノ價格ト運賃ノ半額ヲ標準トスヘキモノトス

○水難救護法トハ

船舶遭難ノ場合其地方ノ市町村長及ヒ警察官吏ノ盡スヘキ義務ヲ

定メタル規則ナリ

四〇

○遭難ニ際シ吏員ノ救護ハ

船長ノ意ニ反シテ爲スコトヲ得サルモノナル故或ハ拒絕スルモ差支ナシ

○船難證明書

航海中海上ニ於テ受ケタル損傷ハ全ク避クヘカラサリシ事情ニ起因シタルモノナルコトヲ證明スル爲メ船長ハ最初寄港地ノ管海官廳ニ報告シテ其認證ヲ受ケタル書類ナリ又保險會社ノ委屬セル検査員ヲ差向ケ荷物損害ノ状態ヲ調査シタル證明書ヲ船難證明書ト云フ

○海上保險トハ

船舶カ海上ニ於テ起ルヘキ危険ヲ豫想シテ其損害ノ填補ヲ契約ス

ルヲ云フ

○保險者ノ責任ハ

契約ニ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外ハ航海ニ關スル事故ニヨリ生ジタル一切ノ損害ヲ填補スルニアリ

○保險者責任ヲ免ル、場合ハ

- 一 保險ノ目的物ノ性質並ニ其物ノ自然ノ消耗及瑕疵又ハ契約者若クハ被保險者ノ惡意並ニ重大過失ヨリ生ジタル損害
- 二 必要ナル準備ノ缺點ヨリ生ジタル損害
- 三 關係者ノ惡意或ハ過失ヨリ生ジタル損害
- 四 不時ノ諸税及ビ諸掛リ費用

○目的物ノ損害ヲ防止スル爲メニ費シタル損害ハ

無論保險會社ノ負擔タルベシ

四一

## ○契約中事項ノ變更ハ

當然契約ハ無効トナルベシ

## ○其他契約ノ無効トナル場合ハ

- 一 契約ノ當時事故ノ生スルコトナキトキ又ハ既ニ生ジタルコトヲ知リ居ルトキ
- 二 契約ノ當時事實ニ偽リアリタル場合
- 三 保険金額目的物ノ價格ヲ超過シタルトキ
- 四 目的物ヲ他人ニ譲リ渡シタルトキ
- 五 契約ニ過失アリタル爲メ目的物ニ著シク變態ヲ起シタルトキ

## ○委付トハ

目的物ニ付一切ノ權利ヲ保險者ニ引渡シテ保険金ヲ受取ルコトヲ云フ

## ○委付ヲナス場合ハ

- 一 船舶沈没シタルトキ
- 二 行衛不明トナリテ六ヶ月ヲ經過シタルトキ
- 三 船舶ガ修繕スルコト能ハザルニ至リタルトキ
- 四 捕獲セラレタルトキ
- 五 差押トナリ六ヶ月ヲ過グルモ解放ニナラザルトキ

## ○委付ノ手續ハ

事故發生ノ時ヨリ三ヶ月以内ニ其旨ヲ保險者ニ通ズベシ

## ○船舶又ハ積荷ヲ義務ナクシテ救助シタルトキハ

相當ノ救助料ヲ請求スルコトヲ得ルナリ

## ○救助料ノ定メ方ハ

特約ナケレバ其物ノ價格以上ニ請求スルコトヲ得ザルベシ但シ其



物ノ先取特權アル場合ニハ其額ヲ引去リタル殘額ヲ標準トシ

○救助料不當ナルトキハ

裁判所ニ申立テ裁定ヲ請フベシ

○救助料ノ分配方ハ

救助ニ從事シタル船舶、汽船ナレバ救助料ノ三分ノ二、帆船ナレバ二分ノ一ヲ船主ノ所得トシ、殘額ヲ船長ト海員トノ間ニ折半シテ分配スベキモノトス

○救助料分配ヲナスニハ

船長ハ分配案ヲ作りテ先キニ海員ニ示シ若シ海員ガ分配案ニ付テ異議アルトキハ最初着セル港ノ管海官廳ニ申立テ指揮ヲ仰グベシ

○船長ガ分配案ヲ作ルコトヲ怠リタルトキハ

海員ハ管海官廳ニ分配案ノ作成ヲ命ズルコトヲ請求スルコトヲ得

ベシ

○救助者救助料ヲ請求シ得ザル場合

- 一 其行動ニ故意又ハ過失行爲アリタルトキ
- 二 正當ニ拒ミタルニモ拘ラズ強テ救助ヲナシタルトキ
- 三 救助シタル物品ヲ隱匿シ又ハ濫リニ處分ヲナシタルトキ

○救助料請求ニ關シテハ

船長ハ訴訟當事者トナリテ裁判ヲ受クルコトヲ得ベシ

○救助料請求ハ

一ケ年ヲ過グレバ時効トナルベシ

○救援ト救助トノ區別ハ

救援トハ損害ノ未ダ大ナラザル場合ヲ救フヲ云ヒ救助トハ損害大ニシテ既ニ見捨テラレタル有様ノモノヲ救フヲ云フ

○船舶債權トハ

船舶ニ付一定ノ人ニ對シテ應爲又ハ不應爲ヲ強制シ得ベキ權利ヲ云フ

○債權者ノ先取特權トハ

他ノ債權者ニ先ツテ支拂ヲ受クベキ特權ヲ云フ

○其特權ノ順位ト云フハ

優劣ノ順番ニシテ海商編第六百八十條ニ規定セリ

○船長ノ行爲ニヨル損害ノ賠償ハ

其航海ノ終リニ於ケル船舶ト其運送貨及其船ガ取ルベキ一切ノ收入ヲ委付スルトキハ船主ニ過失ナケレバ其丈ニテ其責ヲ免ガル、コトヲ得ルナリ

○船舶ニ係ル債權ノ効力ハ

事故發生後一ケ年ヲ經過スレバ時効トナリテ効力ヲ失フベシ

○内國沿岸航海ノ船、外國ニ航海セントスルトキ税關ニ對シテノ手續ハ

資格變更申告書ヲ税關ニ差出シ其許可ヲ受ケ資格證ヲ交付セラルレバ國籍證書ヲ税關ニ預ケ其預リ證ヲ申受ケ置クベシ

○税關ヨリ交付セラル、書類トハ

資格證、貨物輸出免狀、噸税納濟證等ヲ云フ

○輸出貨物ヲ積ミ出港スル迄ノ税關手續ハ

荷主ハ税關ニ輸出申告書ヲ差出シ貨物ノ検査ヲ受ケ船積許可書ヲ得テ之ヲ積荷ニ添へ貨物送狀ト共ニ本船ニ持來ルベシ而シテ本船ニ於テハ夫ヲ税關監視課監吏ノ臨檢ヲ受ケ貨物ヲ積入レ出港前ニハ出港届書ヲ差出シ出港免狀ヲ受ケ預ケ置キタル國籍證書ヲ受取

リ出港スルナリ

○此際乗込員ノ食料ヲ積ムニハ

税關ニ申告シ監吏ノ検査ヲ受ケ積入ル、ナリ外臨航船ノ資格トナ  
リタルトキハ本船ト陸トノ交通ハ總テ監吏ノ監視ヲ經ベキモノナ  
リ

○外國航通船入港シタルトキハ

二十四時間以内ニ出港セル場合ノ外ハ二十四時間内ニ入港届ヲナ  
シ左ノ書類ヲ添付税關ニ提出スベシ

着港届濟書(交通許可書港務局ヨリ交付ノモノ)

積荷目録

國籍證書

出港免狀

一 通  
二 通  
一 通  
一 通

噸税納付書

旅客氏名表

船用品目録

艙口申告書

○貨物ヲ陸揚スルニハ

輸入申告書ニ積取地ノ仕入書ヲ添付シテ差出シ貨物ノ検査ヲ經テ  
輸入税ヲ納メ陸揚許可證ヲ得テ陸揚スルナリ又輸入税納付前ト雖  
ドモ擔保金ヲ差入置クトキハ陸揚毎ニ輸入免狀ヲ得テ自己ノ倉庫  
ニ入レ又ハ賣先へ渡スコトヲ得ベシ

○通關貨物トハ

假令ハ露國浦汐行ノ貨物ヲ神戸ニ陸揚ナシ敦賀マデ汽車ニテ運搬  
シ敦賀ヨリ再ビ浦汐ニ送ル如キモノヲ云フ

一 通  
一 通  
一 通  
一 通

○内國航通船ガ外國貨物ヲ積ミ甲港ヨリ乙港ニ到ルニハ  
 外國貨物回漕手續ヲナスベシ夫レニハ回漕申告書積荷目錄ヲ積出  
 地ノ税關ニ差出シ仕向港ニ到着ノトキ同様ノ積荷目錄ヲ仕向港ノ  
 税關ニ差出シ外國貨物船同一ノ手續ヲナスベシ

○外國ヘ向ケ出帆スルニハ  
 税關ヨリ下附セラル、書類ノ外港務局ヨリ健康證ヲ申受ケ持參ス  
 ベシ

○健康證トハ  
 出發ニ際シ船内ニハ惡疫等ノ患者ナキ旨ヲ證明シタル公文書ニシ  
 テ是レハ出發地ノ港務局若クハ其地方廳ヨリ交付セラレ夫レニヨ  
 リ仕向地ノ領事ニ證明ヲ申受ケ夫ヲ持參スベキモノナリ  
 此證明ナキトキハ外國ニ着港スルモ容易ニ上陸ヲ許可セラレザル

ベシ

○船舶検査証書トハ

船舶ガ検査ノ規定ニ合格シタルコトヲ証シ航行期間、航路定限ヲ表  
 シタル認可証ナリ

○検査証書ニ記載シアル事項ハ

番號、船名、積量、航路定限、航行期間、旅客定員、信號符字、船籍港、所有者、汽  
 機種類、汽鐘種類、汽壓制限、端艇ノ數、及船長ノ免狀種類氏名等ナリ但  
 シ沿海航路以下ノ船ナレバ船長免狀種類氏名ハ記載ヲ省キアルベ  
 シ

○検査証書ニハ

本、假ノ二種アリ又甲乙ノ別アリ

○検査証書ニ甲乙ノ別トハ

普通船ニ交付スルモノヲ甲種検査證書トシ移民船ニ交付スルモノヲ乙種検査證書トス

○検査證書換フ申請スルニハ

検査證書換申請書ニ舊検査證書、検査手帖、國籍證書及自身ノ免狀ヲ添へ海管官廳ニ差出シ検査證書下附ノ際手数料金額ニ相當スル收入印紙ヲ納付書ニ貼付シテ納付スルナリ

○假検査證書ハ

本検査證書ヲ受有スル迄時日ヲ要スル場合ニ航海ヲナサントスルトキ交付セラル、三ヶ月以内効力アル航海許可証ナリ

○船中ニ検査證書ヲ保管シ置クニハ

何人モ容易ニ見得ラル、所ニ掲ゲ置クベシ

○船体検査トハ

船舶ガ検査法ノ規定ニ合格シアルヤ否ヲ調査スル方法ニシテ其種類ニ依リ精粗ノ差違アリ

○其種類ハ

特別検査、定期検査、臨時検査、及ビ移民船検査ノ四種トス

○特別検査トハ

此検査ハ船ヲ上架又ハ入渠セシメテ船底ヨリ殘ラズ綿密ニ取調フル検査ニシテ船ヲ始メテ日本船舶トシテ航海ノ用ニ供スルトキ第一回ニナス検査ハ第一回ノ特別検査ニシテ夫ヨリ船体ノ強弱如何ニヨリ三ケ年乃至六ケ年目ノ定期検査ニ行フ検査ヲ云フ

○定期検査トハ

航行期間ノ終リニ行フ一通リノ検査ヲ云フ

○航行期間トハ

検査ノ上航行ヲ許サレタル期間ニシテ汽船ハ三ヶ月以上一ケ年帆船ハ六ヶ月以上三ケ年トス

○臨時検査トハ

重要ナル屬具ヲ修繕シタル場合、回航認可ヲ受ケントスル場合、旅客定員ヲ變更セントスル場合、又安全瓣ノ封鎖ヲ開キタル場合ニ届出其時検査官吏ガ必要ト認レハ臨檢シテ調フル検査ヲ云フ

○移民船検査トハ

三等客或ハ移住民五十名以上ヲ搭載シテ近海航路區域外ニ向テ出帆スルトキ最後出帆ノ港ニ於テ船内ノ設備ヲ調フル検査ヲ云フ

○航路定限トハ

其船ガ航行シ得ベキ區域ヲ定メタルモノニシテ遠洋航路、近海航路、沿海航路、平水航路ノ四種トス

○遠洋航路トハ

世界各国ニ通航シ得ベキ船ノ航行區域ニシテ一級船ニアラザレバ此航路ニ該當セザルモノトス

○近海航路トハ

東經百十三度ヨリ同百七十度、北緯二十一度ヨリ同六十三度迄ノ航行區域ニシテ二級船以上ニアラザレバ此航路ヲ許可セサルモノトス

○沿海航路トハ

帝國沿岸ヲ三十一區ニ分チタル區域ニシテ三級船以上ノモノニ許可スル航路ナリ

○平水航路トハ

湖川港灣ノミノ一小部分ヲ限リ航海スベキ區域ヲ定メ四級船ノ航

行スベキ場所トス其ヶ所ハ全國沿岸内ニ三十一ヶ所アリ

○一級船二級船等ノ資格區別ハ

船ノ強弱状態ニ依リ船舶検査規程ニ依テ區別セラレタル等級ナリ

○航行認可証トハ

本國籍証書モ假國籍証書モ有セザル船カ試運轉又ハ検査施行地へ  
回航ノ爲メ航行セントスルトキ附與セララル、航海許可証ナリ

○回航認可証トハ

航行期間滿了後或ハ航路區域外ニ航行セントスルトキ交付セララル  
、航海許可証ナリ

○適航証トハ

検査証書滅失或ハ毀損ノ爲メ書換申請中航海ヲナサントスルトキ  
交付セララル、航海許可証ナリ

○船舶職員トナルニハ

船舶職員試験規程ニヨリ免狀ヲ受有シ其資格相當ノ船舶ニ就職ス  
ルコトヲ得ベシ

○丙種運轉士ハ

近海及沿海航路ノ總噸數二百噸未満ノ帆船々長、近海航路五百噸未  
滿ノ帆船一等運轉士、沿海航路總噸數二百噸以上ノ一等運轉士タル  
コトヲ得ベシ

○丙種船長ハ

近海航路ノ帆船五百噸未満ノ船長、沿海航路二百噸以上ノ船長トナ  
ルコトヲ得ベシ

○乙種二等運轉士ハ

平水航路二百噸未満ノ汽船々長、近海、沿海航路百噸未満ノ船長、沿海

航路五百噸未滿及近海航路二百噸未滿ノ一等運轉士タルコトヲ得ベシ

○乙種一等運轉士ハ

平水航路二百噸以上ノ汽船々長、沿海航路五百噸未滿ノ船長、五百噸以上ノ一等運轉士、近海航路二百噸未滿ノ船長、千噸未滿ノ一等運轉士トナルコトヲ得ベシ

○乙種船長ハ

沿海航路五百噸以上ノ汽船々長、近海航路千噸未滿ノ船長、近海航路ノ一等運轉士トナルコトヲ得ベシ

○甲種二等運轉士ハ

遠洋航路五百噸以上ノ二等運轉士、同帆船二百噸未滿ノ一等運轉士、近海航路千噸以上ノ二等運轉士、其外乙丙各運轉士ノ従事スル凡テ

ノ職務ヲ執ルコトヲ得ヘシ

○甲種一等運轉士ハ

遠洋航路ノ一等運轉士、二百噸未滿ノ帆船ノ船長、近海航路以下乙丙各運轉士ノ従事スル一切ノ職務ヲ執ルコトヲ得ヘシ

○船舶國籍證書面ニ記載シアル事項ハ

番號、種類、船名、船籍港、製造地、造船者、進水ノ年月日、甲板ノ層數、外板船骨ノ材料、橋ノ數、綱具ノ裝置、船首船尾ノ形狀、尺度、噸數、機關、所有者又ハ共有者ヲ記入シテ官廳之ヲ證明シタルモノナリ而シテ汽船、帆船、石數船並ニ各假國籍證書アリテ記載事項モ亦大同小異アリ

海法規ノ要項終



新 刊

中山智行著

航海術算法解說

說明及算式  
四百五拾頁

金貳圓

航海術全課程此本二納

大正元年九月五日印刷  
同 年九月十日發行  
同 二年二月十五日訂正再版

航海法規ノ要項

定價金貳拾錢

發行者兼  
著者

中山智行  
大阪市西區九條南通二丁目二番ノ三

印刷者

岩井龜次郎  
大阪市西區阿波座中通二丁目二七一

發行所

中山海士學館  
大阪市西區九條南通二丁目二番ノ三  
電話 西 二九三番



發賣所

三宅莊藏  
大阪市東區南本町四丁目  
電話 長 東 三六一六番

圖書目錄

- 航海術新問題集 定價金壹圓貳拾錢
- 航海ニ用テ語説明 送料金參拾錢
- 海圖問題集 送料金貳拾錢
- 航海記事案內 送料金貳拾錢
- 海法規ノ要項 送料金貳拾錢
- 十二時對數 送料金貳拾錢
- 奇氏對數 送料金貳拾錢
- 那氏對數 送料金貳拾錢
- 自差對數 送料金貳拾錢
- 同船練習用紙 送料金貳拾錢
- 練習用海圖 送料金貳拾錢
- 海上衝突豫防講義問答 送料金貳拾錢
- 中山運用術第一集 送料金貳拾錢
- 中山運用術第二集 送料金貳拾錢
- 羅針、自差測定、測深具、測程具、貨物及屬具、瀛船運用、同帆ノ扱、信號法 送料金貳拾錢
- 中山運用術 第三集 送料金四拾五錢
- 中山運用術 帆ノ扱、帆船運用 送料金四拾五錢
- 六分儀經線儀 送料金貳拾錢
- 颶風、海流 送料金貳拾錢
- 荒天修理用 送料金貳拾錢
- 應急修理用 送料金貳拾錢
- 暗車修理用 送料金貳拾錢
- 重貨修理用 送料金貳拾錢
- 遭險應法 送料金貳拾錢
- 自差論及矯正 送料金貳拾錢

大阪市西區九條南通二丁目百五十二番地ノ三

中山海士學館圖書部

終

